



CONTENTS

JAID 年間活動報告

ハワイ大学カダイバーコースREPORT

鈴木先生

祝・ICOI次期会長ご就任

第3期衛生士コース ロサンゼルス研修
第2期訪問歯科 衛生士コースを受講して
KLT川口歯科医院 ご開院100周年記念



ノーベルパラレル・コニカル・コネクション さまざまな症例に対応するストレート・インプラント

革新的な修復ソリューション

連結部にインターナル・コニカル・コネクションが付与されたノーベルパラレル CC (コニカル・コネクション) インプラントは、革新的な修復ソリューション「ノーベルプロセラ ASC* アバットメントおよびノーベルプロセラ FCZ** インプラント・クラウン」の修復を提供できます。

*ASC : Angulated Screw Channel

**FCZ : Full Contour Zirconia

ユニバーサルタイプのセルフタップ・インプラント

多くの臨床データで裏付けされたストレートタイプのインプラント・ボディは、臨床に応じた埋入深度の調整を可能にし、幅広い症例に適応します。

即時負荷のために設計

インプラントにはタイユナイト加工が付与され、先端部がやや細くなっています。先端部からプラットフォームまでスレッドが付与されたインプラント・ボディとドリル・プロトコールは高い初期固定性をもたらし、即時負荷をサポートします。

ノーベルパラレル・コニカル・コネクション・インプラント
医療機器承認番号: 22800BZX00155000

強固な密着を実現

コネクション基底部に六角形のヘキサゴナル・インターロッキング (回転防止機構) を備えたインターナル・コニカル・コネクションにより、高い密着性と機械的強度を実現します。

治療時間を効率的に

簡便かつシンプルなドリル・プロトコールは、異なる骨質に応じて柔軟な対応が可能です。即時負荷プロトコールを採用できるため、治療期間を短縮し、効率的な治療を実現します。



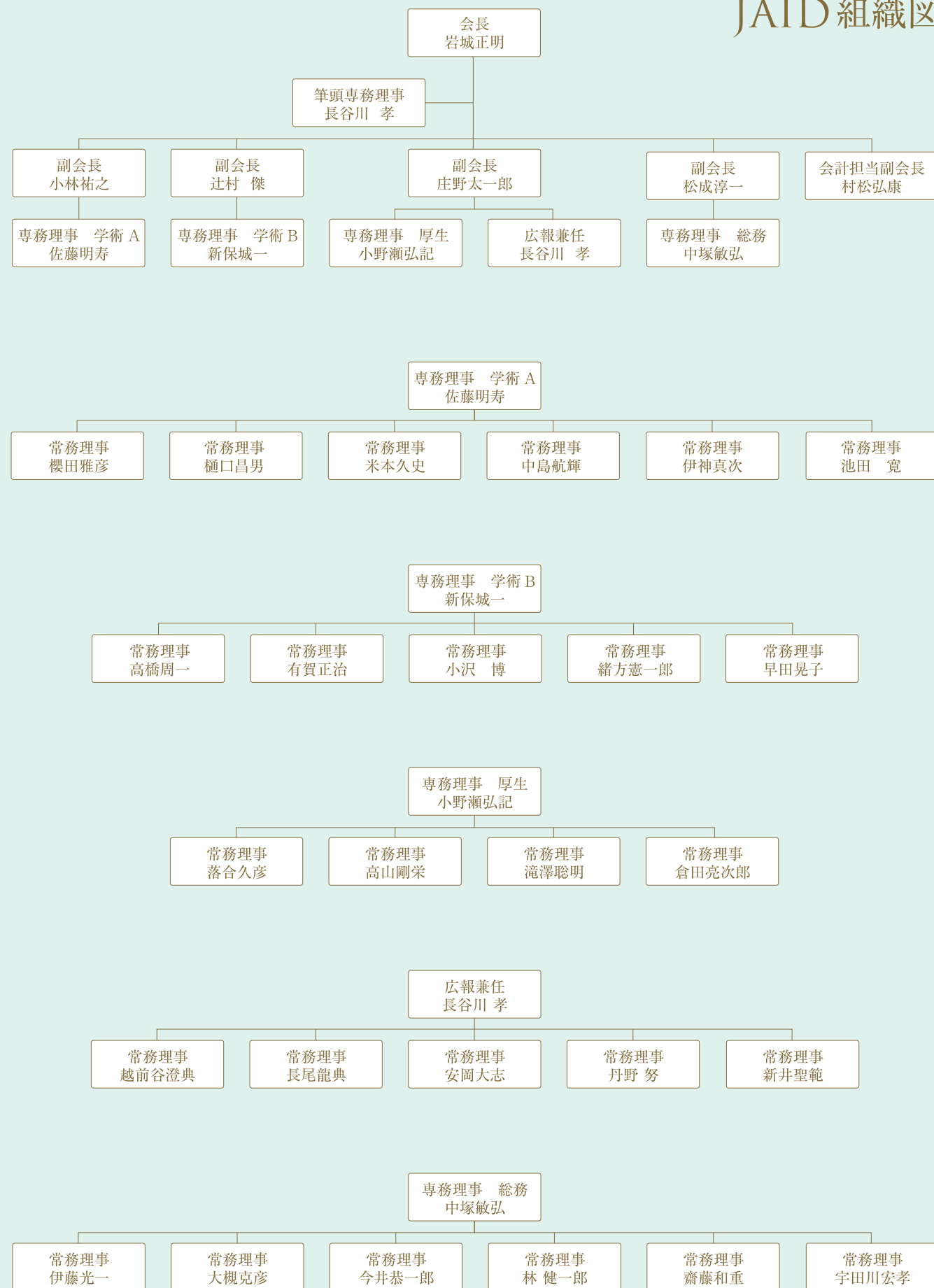
ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー13F
TEL : 03-6408-4182 <http://www.nobelbiocare.co.jp>



ノーベルバイオケアは、お客様との永いパートナーとして、様々なサービスやサポートをご提供しております。
リクエストはこちらより

JAID 組織図



監査：川口和子 顧問：鈴木仙一 五十嵐一 脇田雅文 清水藤太



Autumn 2017
CONTENTS

01	目次
02	JAID組織図
03	鈴木仙一先生 ICOI国際口腔インプラント学会 次期世界会長ご就任
05	JAID DIARY 年間活動報告 新井先生
13	コンサルテーションツールプロジェクト 五十嵐先生
15	JAID 第3期 衛生士コースロサンゼルス研修
21	ハワイ大学カダイバーコースREPORT
25	1st World symposium - autologous tooth bone graft に参加して
27	クインテッセンス出版 ドイツ本社訪問記
29	KLT川口歯科医院 ご開院100周年記念
31	All-on-4 Clinical Residency メルボルン2日間コース
33	JAID認定 第2期 訪問歯科 衛生士コースを受講して
37	医院巡り ～庄野歯科～

JAID会長よりごあいさつ



JAID: Japanese Academy for International Dentistryは、2012年3月11日に結成された、若い学会です。USC・UCLA・NYU等の海外CEコースを修了した歯科医師が中心となって設立されました。海外研修で得た知識や経験を日々の臨床に役立て、国際標準の歯科医師を育成することや、アメリカの学会の日本でのアフリエート学会としての役割を果たし、

(1) 卒後研修を通じて歯科臨床技能を高める
 (2) アメリカはじめ海外との歯科交流の窓口となる
 (3) 歯科医の社会的・経済的成功をサポートすることを目的としています。

2012年・2013年と海外講師を招いた学術大会や、各種の主催講習会・セミナーを活発に開催してきました。今後は、衛生士向けセミナー等も拡充し、海外CEコース修了者だけでなく、今後海外CEコースを受講希望者まで、入会の間口を広げ、日本の歯科界における重要な役割を担う団体となるよう、会員一同研鑽しています。

2017年11月吉日 会長 岩城正明

Congratulation

祝

鈴木 仙一 先生 ICOI 国際口腔インプラント学会 次期世界会長ご就任



2017年8月18・19日カナダ・バンクーバーにて開催されたICOI(国際口腔インプラント学会)にて、我々がJAID顧問・鈴木仙一先生が次期世界会長に任命されるということで、現地まで行ってまいりました!!

現地に到着すると、鈴木先生の胸元には既に“PRESIDENT ELECT”の文字が光っており、ご一緒させて頂いた指導医の先生方と大盛り上がり。Judy会長、Palti本部理事はじめ世界各国の先生方から鈴木先生は祝福を受けられておりました。当日の鈴木先生の白色タキシードは、オーラがありとても似合われておりました。

お祝いモードが最高潮に達したのは、表彰式が終わった際、日本からお祝いに駆けつけられていた先生による胴上げ!!

2016年にはICOI日本法人も設立され、ICOI Japanとしての活動も益々活気づいてきている最中のICOI Worldでの会長ご拝命。この御快挙はさすが鈴木先生です。ICOIにはJAID会員の先生方も多く在籍されておられる中、ともに携わる一員として僕も誇りに思った次第です。皆さんの想いが詰まった最高のICOIバンクーバー大会でした。

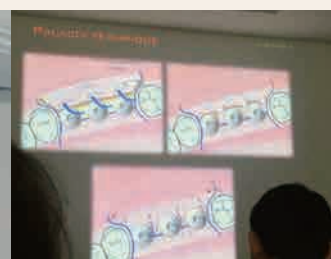


JAID総会・学術集会

@ 東京・中央大学駿河台講堂

2016.10.02

2016年度JAID総会/学術大会が大会長・有賀正治先生のもと東京・中央大学駿河台講堂にて開催されました。今年は韓国から韓国カトリック大学教授 Prof. Dong-Seok Sohnと延世大学歯科大学 Dr. Im Seung先生の名の著名な講師をお招きし大変白熱した講演を賜りました。衛生士部会の方々も多く参加され、ますます盛大に開催されました。開催にあたり今年もご準備頂きました各先生方、お疲れさまでした。



Im Seung先生からは”How to minimize GBR complication? Treatment of peri-implantitis using LASER”をご演題に、短期間で簡便にGBRを行うための、欠損状態に応じたグラフトマテリアルの選択について解説。また、インプラント周囲炎へのEr:YAGレーザーを応用した症例を供覧しながら、そのポイントについて解説を賜りました。



The Comparison

	VacuumSeal system	Kim
Metacombination	0	0
Autocombination	0	0
Demineralization	0	0
Bone Remodeling	0	0
Sterilization	0	0
The use of contaminated tooth for bone, Autocomb. Only	0	0

Dong-Seok Sohn教授からは”Simple and predictable augmentation using sticky bone and sticky auto tooth bone”をご演題に、AFGと骨補填材料を混和して作るスティッキーボーン、抜去歯を粉碎し真空状態で脱灰後に滅菌して作る自家歯牙骨補填材料を用いた骨造成について、わかりやすく解説して頂きました。



JAID DIARY

2016.10 ~ 2017.9 年間活動報告

JAID では 2016-17 年度も多くの方々に支えられ様々な活動が精力的に行われました。今年もその模様を誌面の限りお伝え申し上げます。

JAID 理事 新井聖範 (医療法人 artistic dental clinic)



ハワイ大学 解剖学実習コース

@Honolulu, Hawaii

2016.10.29-30

今回、JAID初の試みといたしましてハワイ大学のご協力の元、ハワイオアフ島ホノルルでのセミナーが開催されました。講師にはロサンゼルスでの研修でもお世話になっているサミュエル・リー先生をお招きし、インプラント治療に関する重要な解剖学を学びハンズオンを行うという企画で、募集人員を大幅に上回る40名近い先生方のご参加を頂きました。



11月20日	救急蘇生・全身管理の講義・実習 日本大学松戸歯学部麻酔科 歯科麻酔専門医 山口秀紀准教授
12月11日	訪問歯科の基礎知識 摂食嚥下
1月22日	接遇 口腔清掃方法・口腔清掃に使う物品説明
2月26日	介護の現状・介助方法 医療と介護の関わり 在宅介護事業について 株) ベネッセスタイルケア 修了証授与式兼打ち上げ

第1期 訪問歯科衛生士コース

@ 東京

2016.11 ~ 2017.02



こちらのコースも2016年より初開催となりました。高齢者や障害を持つ方々の口腔内の健康を維持するため、訪問歯科に携わる歯科衛生士を育成するコースとなっております。全4回のコースでは、口腔ケアをメインに、摂食・嚥下・訪問介護・緊急蘇生など、全身をトータルで管理することを学ぶ内容となっております。高齢化社会における歯科の中でも、とりわけ歯科衛生士の役割が重要となってきた昨今、JAIDではより専門的な知識をもったスタッフの育成にも今後取り組んで参ります。



リー先生、ロサンゼルスでの研修に引き続き、今回もありがとうございました。ご参加頂きました先生方もお疲れ様でした。



第3期 JDHC DH-LAコース @ 東京・Los Angels 2016.06~2017.03

大好評のDH・LAコースは2016・17年度も第3期が開催されました。9か月に及ぶプログラムの内容は東京での研修に加え最後はロサンゼルスに渡航し研修という特徴的なものとなっております。同コースは単に歯科衛生士の実技スキルアップを目指すものではなく、英語論文の抄読など英語力の向上に加え、徹底したエビデンスベースの世界レベルのDHを育みたい、という担当理事の先生方の熱意あるお考えに基づきJAIDならではのコースとなっています。

	日時	会場	内容
第1回	2016/6/5 [日]	東京八重洲ホール	オリエンテーション/自己紹介/う蝕病因論/歯周病病因論/口腔内写真撮影デモンストレーション
第2回	2016/7/31 [日]	東京神田 ホットライン研修室	唾液検査実習/データ管理/講義/細菌コントロール/SM-LB/リスク検査判定トレーニング/唾液検査 他
第3回	2016/9/4 [日]	東京神田 ホットライン研修室	シャープニング講義/デモンストレーション/実習/医療器具の再生処理/感染管理講義/シャープニング講義 他
第4回	2016/10/23 [日]	東京三鷹 レミントン歯科	SRPデモンストレーション/SRPポジショニングデモンストレーション/マネキントレーニング
第5回	2016/12/4 [日]	東京三鷹 レミントン歯科	インプラントメンテナンス/PMTC実習/デモンストレーション相互実習/インプラントメンテナンス実習 他
第6回	2017/2/5 [日]	東京 株式会社白鷺 会議室	総合症例発表会/ロサンゼルスへの説明/修了証授与式/受講生による症例発表
第7回	2017/3/5 [日]~9 [木]	アメリカロサンゼルス	優秀者症例発表/現地視察/修了証授与式 他



2017年度 JAID理事会

@ 東京・神田 (アース製薬本社会議室)
2017.04.01

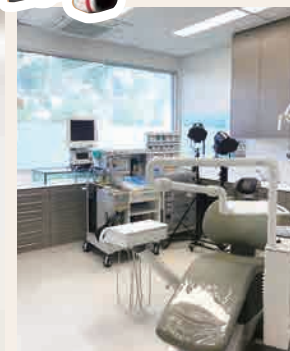


2017年度の理事会はアース製薬株式会社様のご厚意により本社会議室をお借りして開催されました。今後の計画等JAIDの行く末を理事一同、頭を抱え話し合った次第です。アース製薬様ならびに同社顧問・石井勘様のご協力誠にありがとうございました。

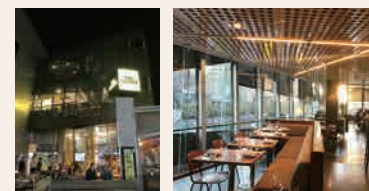
南半球で初めてのJAID研修が、オーストラリアのメルボルンで開催されました。オーストラリア第2の都市メルボルンは世界一住みやすい街NO.1に選ばれたことがあるほどで、環境も良くとても素敵な街でした。
アレックス先生は、インプラント治療の中でも特に無歯顎治療であるAll-on-4治療に特化されておられます。先生の治療法は特別な手法が多く日本では一般的にあまり知られていません。
先生からは治療法についての詳しいレクチャーや、実際の手術にも参加させて頂き学ぶことが出来ました。我々日本の歯科医師とはまた違う概念によるアプローチに大変感銘を受けた次第です。

Dr.Alex Fibishenko All on 4 clinic研修

@Melbourne, Australia
2017.02.20-21



インプラント治療に精通する先生方からもアレックス先生の手法には大いに感嘆されておられました。今回のようにライブオペを交えたレクチャーは本当に分かりやすく勉強になります。アレックス先生ありがとうございました！Tシャツカッコイイです！



研修期間中にはアレックス先生が懇親会も開催してくださいました。メルボルンの街を一望できる素敵なレストランでのお食事はとても美味しく夜遅くまで皆さんで大いに盛り上がりしました。



2016年度を振り返って



2017年10月吉日
会長 岩城正明

2017年も残すところあとわずかとなりましたが、この一年を振り返りまして、例年にも増してJAIDメンバーの活躍・飛躍が感じられる1年だったと思います。ある会員は、移転開院によりさらに大きな陣容で地域歯科医療に貢献すべく体制を整え、ある会員は、海外CEコースの重要なポストを任せられ、ご自身でセミナーやコース等を主催されました。JAIDとしても、海外セミナーを開催したり、学術大会を主催してきました。特に衛生士コースでは、2つのコースを擁し、日本の歯科衛生士の意識・技術の向上に寄与しています。そこに、鈴木仙一顧問の「ICOI次期会長」という嬉しい衝撃的なニュースも飛び込んできて、益々、JAIDの存在が確固たる地位を築く基盤となるでしょう。

今後も、活発な活動を通して、各会員の学術的向上・経済的向上に寄与できるよう邁進してまいります。

私たちは新たな付加価値を創造し、モノにもう一度 命を吹き込む会社です。



Recycle	リサイクル	貴金属分析・精錬
Clean	クリーン	産業廃棄物適正処理
Support	サポート	歯科研修会場 DHA

AS 相田化学工業株式会社
 歯科営業部
 〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
 TEL: 042-366-1201 FAX: 042-366-3101
 URL: http://www.aida-j.jp
 営業所/札幌、仙台、郡山、新潟、千葉、埼玉、東京、神奈川、甲府、静岡、長野、名古屋、大阪、広島、香川、福岡、鹿児島

New Standard 光学印象始めませんか？

口腔内ダイレクト高速スキャン
患者説明用ツールとして応用



口腔内ダイレクトスキャナー
トロフィー 3DIプロα



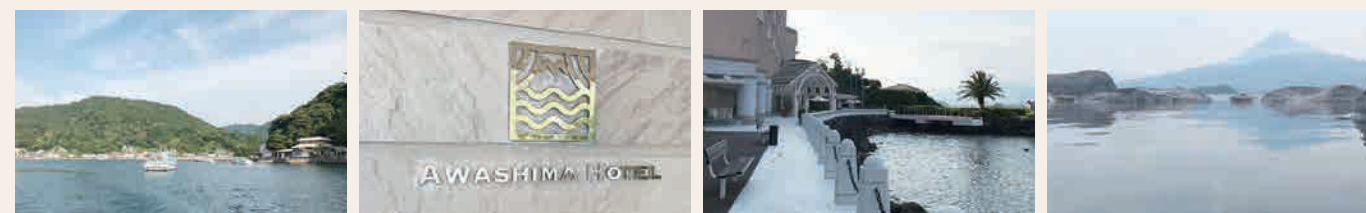
一般的名称: デジタル印象採得装置/歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット
 販売名: トロフィー スリーディーアイプロ 承認番号: 229008ZX00139000 (管理 特管)
 製造販売元: トロフィー・ラジオロジー・ジャパン(株) 東京都江東区冬木11-17 イシマビル
 ※トロフィー 3DIプロαの販売名は、トロフィー スリーディーアイプロ (承認番号: 229008ZX00139000) です。

株式会社 **ヨシダ** 東京都台東区上野7-6-9 TEL.0120-178-148 (コンタクトセンター)

KLT川口歯科医院 100周年記念式典

@ 静岡・沼津市 淡島ホテル

2017.06.17-18



オーラル・インプラント・リハビリテーションシリーズ 編集会議

@ 東京・御茶ノ水 (クインテッセンス出版株式会社)

2017.02 ~ 2017.08



2014年度から3年連続3冊を編集・発行させて頂いたオーラル・インプラント・リハビリテーションシリーズの書籍ですが、本年は第1巻が英語翻訳され世界で発売が開始されました。また、JAID書籍編集部では現在、患者様に対し説明用に用いるコンサルテーションツールも編集しております。皆様のお役に立てる説明ツールの開発を目指し、本年も会議は繰り広げられています。

エンドの「エビデンス力」と「臨床力」を同時に高めるために

UCLAエンド・メンターシップ・プログラム 清水藤太クリニカル・エンド・セミナー

エビデンスに基づいた歯科治療を行うためには、「これまでに蓄積された医療データ（エビデンス）の知識」と「高い臨床力」という、アートとサイエンスの2つが必要となります。この4ヶ月プログラムに於いては、UCLAエンド科教授陣による80本を超える文献の抄読会、清水藤太による臨床主義の講義・実技デモ、という車の両輪により、先生方のエビデンス力と臨床力の両方を一挙に世界水準まで引き上げることをお約束いたします。

1. UCLAエンド科教授陣による、80本を超える文献の抄読・解説



受講生にはコンテンツボラーなエンドの基礎となる重要文献300本以上をPDF形式にてお渡しし、その中からさらに精選された80本の文献について、UCLA教授陣がこの臨床的意義につき抄録・説明を行います。これにより世界水準のエンド治療を行うための理論武装が身につきます。

2. 臨床力に抜群の定評を誇る清水藤太による臨床手技の講義・デモ

講師の清水藤太が、その臨床技術のすべてを丁寧に解説・デモ。麻酔・アクセス・根管開拓・根充・外科はじめ、マイクロスコープの使用法にいたるまで、清水の臨床マジックを4ヶ月かけて先生方に伝授いたします。

3. UCLA歯学部卒業後教育部の正式なプログラム

UCLAの正式なプログラムとして、UCLAよりプログラム修了証が出されます。今回はプログラムの幅を広げるため、講師としてエンド科のみならずペリオ科主任教授のパウロ・カマーゴ教授、審美歯科よりトッド・シェーンバウム教授も来日。

4. 受講しやすい日程設定

受講生の便宜を考え、A日程・B日程の2つの日程を設定。受講生は毎月いずれかの日程を選択できます。

場所 株式会社ヨシダ 東京本社研修室
東京都台東区上野7-6-9

受講料 95万円
「JAID季刊誌を見た」で
5万円引き！

**お問い合わせ
お申込み先** 株式会社デンタルプロモーション
FAX : 06-6242-0807
E-mail : nakaya@denタル-promotion.com



第6期	【クラス】	【日程】	【内容】
第一回目	AB日程 共通	2018年 5月26日(土) 9:00-20:00 5月27日(日) 9:00-16:00	文献抄読、集中講義
第二回目	A日程 B日程	6月16日(土) 14:00-20:00 6月17日(日) 9:00-16:00 6月23日(土) 14:00-20:00 6月24日(日) 9:00-16:00	根管拡大・形成・充填、 ベーシック編
第三回目	A日程 B日程	7月21日(土) 14:00-20:00 7月22日(日) 9:00-16:00 7月28日(土) 14:00-20:00 7月29日(日) 9:00-16:00	根管拡大・形成・充填、 アドバンス編および 外科ベーシック編
第四回目	AB日程 共通	8月18日(土) 14:00-20:00 8月19日(日) 9:00-16:00	外科アドバンス編、 特別講義、 サティフィケート授与

清水藤太クリニカル・エンド・セミナー第6期申込書 【事務局】株式会社デンタルプロモーション(担当:中屋) FAX 06-6242-0807

氏名	携帯番号	メールアドレス
医院名	住所	〒

全てご記入の上、FAXにてお申し込みください。受付確認後、改めて弊社担当よりご連絡させていただきます。



UCLA エンド科 講師陣



モー・カン教授



シェーン・ホワイト教



ナディア・シュガー教授



トッド・シェーンバウム教授



清水藤太講師



五十嵐 一
Hajime Igarashi
・JAID顧問
・五十嵐歯科医院 院長



オーラル・インプラント・リハビリテーション・シリーズ コンサルテーションツール プロジェクトについて

インプラント治療を始めるにあたっては、コンサルテーションを治療前に行い、現在の口腔内の状況を説明し患者に理解を求める必要があります。また、治療方針についてはパノラマ画像やCTスキャン画像等のX線写真を用い患者に説明を行うわけですが、歯科の治療内容を図や言葉だけで把握させるのは患者さんにとっても非常に難しいと思われます。

そのため、コンサルテーションの際に理解をより深めてもらえるように患者にハンドアウトとして渡し、また例えば患者自身が家族の方々にもインプラント治療について説明し理解を求めることができるツールも必要であると考えていました。そこで今回、我々がクインテッセンス出版から発刊したオーラル・インプラント・リハビリ

テーションシリーズ第1巻から3巻までを再度検証し、この知識をもっと簡略にまとめるとともに新たな内容も加え、安価にした雑誌(パンフレット)を出版することになりました。これであればチェアサイドでの説明にも適し、患者にも持ち帰れるよう簡単に渡すことが出来ると考えています。これからの治療は、いかに簡単に患者に治療内容を説明するかとともに、患者自身がこれらのツールを使って家族の方々にも説明する必要があると思われます。今回会議を重ね作成したツールは、非常にコンパクトにまとまったパンフレットとなりました。クインテッセンス出版としても、出版した本の内容をまとめ患者説明用のツールを作成するというプロジェクトは初の試みでした。興味のある方は新井先生までお問い合わせください。



MD ガイド Mesial Distal Guide インプラント用イニシャルドリル

商品名 MD ガイド

MD ガイド イントロキット 標準価格 120,000 円 (税別)

キット内容 各1個 ドリルガイド φ6, φ7.5, φ9, φ10.5, φ12 (mm)
ノンドリリングガイド φ6, φ7.5, φ9, φ10.5, φ12 (mm)
サージカルボックス

■ 簡単3ステップ — 近遠心の補綴物を想定しながら簡単に位置を決められます —



記載されている価格に消費税は含まれません。また、商品の内容・価格・仕様・デザイン等を予告なく変更する場合があります。無断転載禁止。

医療機器届出番号 13B1X00133000058



MD ガイド イントロキット
オートクレーブ対応 (134℃)



販売元: **クロスフィールド 株式会社**
〒130-8516 東京都墨田区江東橋1-3-6 TEL 03-5625-3306 FAX 03-3635-1060
URL : http://www.crossf.com E-mail : cf@yoshida-net.co.jp
製造販売元: 株式会社吉田製作所

Report 01

辻村 傑

JAID DH 担当理事
つじむら歯科医院グループ総院長

リーヒルトンホテルにチェックインしました。長旅の疲れの中でしたがホテル内にあるレストラン、ジャスティスにて、シェーン教授ベセニ夫妻、ジョアン夫妻を招きウェルカムディナーが行われ、自己紹介を交え楽しいひと時を過ごし、初日を終えました。

2日目は早朝よりアメリカ歯内療法専門医である清水藤太先生の新しいオフィスにお邪魔し、『歯科衛生士業務におけるマイクロスコプの有用性』という内容で講演をいただき、その後受講生一人一人、マイクロスコプを用いたレクチャーを受けるという貴重な経験をさせて頂きました。

マイクロスコプの活用方法を学んだあと、パサデナにあるアメリカ前審美歯科学会会長のマーチャック先生のオフィスに訪問し、オフィス見学後 UCLA 歯内療法シェーン教授による『歯科衛生士が知っておくべきレントゲンの読影、診査、診断』というテーマ

で貴重な学びを得ました。

さらに、その後マーチャック先生のオフィスに勤務する歯科医師のベセニと歯科衛生士のジョアンからの講義を受ける機会にも恵まれました。講義の後は全員で mainson AKIRA に移動し、懇親会ディナーにて美味しいフレンチを堪能し楽しい時間を過ごしました。

食後は映画フラナンドで有名となったグリフィス天文台に行き、LA の美しい夜景鑑賞を行い、受講生の目と心に記憶が刻まれたことと思います。

3日目は午前中に USC に訪れ、キャンパスツアーを行った後、USC 歯学部歯科衛生士科ダイアンメルローズ先生の指導のもと、5つのチームに別れ、歯周ポケット内視鏡・シャープニング・ポジショニング・浸潤麻醉(模型)の実技指導を受ける機会に恵まれました。歯科衛生士科40台のユニットを



『厳しいけど育つ』を掲げているコースだからこそ、私たち理事も、受講生各自の努力や、苦しみ、頑張りを見守り続けてきました。

全面開放していただき、歯科衛生士科職員、学生総動員で実技サポートをしてください、受講生にとって非常に学び多き貴重な体験となったことと思います。



衛生士コース ロサンゼルス研修

2017年3月4日から9日までロサンゼルスへ
受講生の衛生士達とともに研修へ行ってきました。

第3期生となる、JAID-DHLA course は今期も例年同様に国内で6回のカリエス、ペリオの基礎医学講座、臨床検査、診査診断、シャープニング、SRP、予防処置までを実技含め学び、全員が症例発表を行った後、今年も最終目的地となるロサンゼルスへ3月4日〜3月9日にかけて訪米してきました。

3月4日 20時に羽田空港に集合し22:55羽田発の便で日付変更線を超えロサンゼルス国際空港に同日15時に到着しました。その後サンタモニカで夕焼けを見ながら散策しダウンタウンにあるダブルツ

Report 02

杉浦 ひろ子

つじむら歯科医院 歯科衛生士

『My hygienist』がいる事が 当たり前の日本になる事を目指していきたい



私は、ロサンゼルス市の歯科医院、UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス大学）への訪問、そしてUSC（南カルフォルニア大学）では歯科衛生士学部の授業見学、学生さんとの交流が盛り込まれたスケジュールに、是非行ってみようと思参加させて頂きました。

USCでの授業は、先生の行うデモを前のスクリーンに映し出しそれを見ながら、施述位置、使うスケーラーを全員で歌うように楽しく復唱されていて、皆さんとてもいきいきとされていました。日本の学校よりSRPのマニュアルが徹底しているなど、感じました。また、授業内で一緒に体験する時間も作っていただけていました。学生の皆さん、とてもフレンドリーで「なんでも質問して」という感じでしたのに、自分の英語力不足を後悔しました。

アメリカでは歯科衛生士は花形の職業です。資格取得の関門も高く、免許取得後ほぼ100%の就職率であり、60歳を過ぎてもバリバリ現役で活躍されている方も多くいます。

アメリカでは医療費が高額なため予防が大切と考える人も多く、歯科衛生士の役割が重要なため、社会的地位も高いです。そして年収も多く日本の倍以上です。

日本は、予防の必要性を感じてない人が多いため、定期的にメインテナンスに通う人がまだ少ない状況です。口腔環境を良くしておくことは全身疾患のリスクも減らす事に繋がる。『口腔の健康から全身の健康へ』です。

私は、ロサンゼルス研修に参加して、このことを、もっと浸透させたい。「My hygienist」がいる事が当たり前前の日本になる事を目指していきたい。」との思いを強くしました。

この研修で、全国のモチベーションの高い歯科衛生士さんと8ヶ月一緒に学びました。このみんなで、そのためにはここからどうしていったらいいのか。ここでも終わりではなく、これを始まりにして歯科衛生士への情報の発信源になり、そして日本の歯科衛生士の社会的地位を向上させて行きたいと思っています。



またダイアンメルロース先生には大学内の講義室にてアメリカ式の最新予防プログラムである『CAMBRA』の講義を行って頂き、エビデンスとデータに裏付けされた予防プログラム実施の重要性をあらためて理解、認識させてもらったと思います。

午後からはUCLAに移動し、ナディア教授のガイドのもと、UCLAの広大な敷地のなかでキャンパスツアーを行い、受講生はスケールの大きさに驚くとともに伝統ある大学を見てまわりました。その後Grooveショッピングモールに場所を移し、フリータイムとなり各自お土産や洋服などショッピングを楽しんでいました。ショッピング後は同じエリア内にあるレストランMORELSにてゲストを招きながら夕食を楽しみました。

夜はHOLLYWOODでのフリータイムで、思い思いの時間を過ごし3日目を終えました。

最終日4日目は前アメリカ歯周病学会（AAP）会長のOTOMO先生のオフィスに訪問し、臨床の見学と、OTOMO先生から骨造成、再生療法に関する1時間の講義を受け。人工骨の選択基準、メンブレンなど使用材料の特徴、手技に至るまで幅広く学ばせて頂きました。

昼からは受講生の要望の多かったUNIVERSAL STUDIO HOLLYWOODでアクティビティを楽しみました。



技術的な成長はもちろんのこと
心の成長を実感することができた

今期も過密なLAツアースケジュールをこなした受講生のFairweather Dinner会場は海辺のWhiskey Redsで行い、最後の夜を楽しみながら受講生一人一人がこの研修をサポートしてくれた勤務先、院長先生やスタッフへの感謝の気持ちを述べながら、各自一年間というJAID DH LAコースで得られたこと、歯科衛生士という職種の価値について正面から向き合い考えたこと

と、習得した知識と技術をいかに臨床に活かしていくか、などなど思いを語ってくれました。

『厳しいけど育つ』ということを掲げ運営されているコースだからこそ、主催させていただいている私たち理事3名（新保、早田、辻村）も、受講生各自の努力や、苦しみ、頑張りを認め、症例作成や人前での発表している姿を見守り続けてきました。彼女たちの技術的な成長はもう嬉しかったのですが、今期は特に心の成長を実感することができ、我々理事も目頭が熱くなりながら受講生の感想を聴いていました。

今期も長い様であつという間にコースも終了し、受講生各自が日常臨床に戻られ、プロの歯科衛生士として、生涯活躍されることを期待しております。

JAID Team DHはLAコース修了者が集まりDH部会として活動もスタートしこれから歯科衛生士の社会的地位向上、歯科医療の価値向上を目指し活動して参りますので、今後ともご支援よろしくお願い致します。



より永く、より強く。

Straumann® Roxolid® インプラント



Roxolid®の詳細はこちら

ストローマンインプラント(Roxolid SLActive)BL 22700BZX00241000
ストローマンインプラント(Roxolid SLActive)TL 22700BZX00428000

ストローマン・ジャパン株式会社
〒108-0014 東京都港区芝5-36-7 三田ベルジュビル 6階

straumann
simply doing more

自分の中の何かが変わるきっかけになるのではない、参加を決めました。

数年前からSNSを通して、JAIDの活動を目にする機会がありました。その度に「私と同じ歯科衛生士が学ぶ場なのに、ニコニコした笑顔とキラキラした目、その場には何があるのだろう」といつも思っていました。私は歯科衛生士になって27年、あたりまえのようにTBIや検査、衛生士業務を行い、患者様のお口の管理をしてきました。現在、勤務する歯科医院は最新の機器が揃い、カリエス治療、歯周病治療も最新の治療を導入しています。

このように、毎日、あたりまえに仕事をしてきた中でJAIDの記事は、私にとって衝撃が走りました。今まで自分発信で学ぶことはもちろん、トレーニングをすることもありませんでした。自分の中の何かが変わるきっかけになるのではない、参加を決めました。JAIDHコースへの参加を決めました。各回のセミナーも含めLA研修はJAID理事の先生方の綿密な打ち合わせとご配慮を感じる内容でした。私達受講生へいろいろな場所へ案内してくださったり、現地の先生方や衛生士、また、学生達と接する機会を設けてくれたり、本当に心配りが素晴らしく、ありがたいと感じました。

ベゼー先生とジョアン衛生士は一年前に講義を拝聴する機会があり、受講を決めたきっかけでもありましたので、再会はとても嬉しかったです。麻酔の実習やSRPのデモンストレーションもとても勉強になりました。USCやUCLAでは未来の衛生士の学ぶ姿を見せていただきました。全体の1驚いたのは男子生徒の多さです。全体の1

／3を占める男子生徒は日本では考えられません。ここに日本とアメリカの歯科衛生士に対する認識の違いがあると思います。どの学生も自信に満ち溢れ、生き生きと学ぶ姿は素敵でした。何より驚いたのは学生達とても美しい口元です。みんな、カリエスは無いし、歯並びは良いし。これは日本人では考えられませんが、やはり、小さい頃からの予防に対する認識の違いがこの差なのだと感じました。これは、実際にLAに行かなければ感じる事ができないですね！

3期生とは、今でも連絡をとりあい、楽しい交流の場に。素敵な仲間に出会えて本当に嬉しかった。

Report 03

今泉 珠貴

パークサイドデンタルクリニック 歯科衛生士





01

Seminar in
University of Hawaii
REPORT

三井 英晃

因幡会
中野セントラルパーク
デンタルオフィス

Seminar in University of Hawaii REPORT by Hideaki Mitsui

自分を見直す貴重な時間にもなり、
この先の自分のステップアップに
つながる経験が出来た。

今回2016年10月29日・30日、ハワイ大学にて行われたサミュエル先生による実習セミナーに参加させていただきました。サミュエル先生の解剖の講義やカッター実習、最新の3D技術を利用した技術の体験などとても貴重な体験をすることが出来ました。

人体解剖は学生以来なので正直忘れてしまっていたところの確認や危険な部位、神経、血管の走行などを再認識することが出来たと同時に、今まで自分なりの解釈や方法で行ってきたしまった手技についてはしっかりと反省し改善していこうと思いました。各セッションごとに各部位の説明もありとても分かり易かったです。全く外科の経験がない状態ではなく少しづつ経験が増えてきた中での今回のセミナー参加でしたので、自分を見直す貴重な時間にもなり、またすぐに臨床で実践したり意識を変えたりとこの先の自分のステップアップにつながる経験が出来たと思います。

またカッター実習ではインプラント埋入、上顎洞挙上、骨移植、根面被覆などを行いました。実際に献体で行う事で、シユナイダー膜の感覚や骨の硬さ、血管の吻合など教科書や模型では味わう事の出来ない貴重な経験をすることが出来ました。実際の臨床では行わないところまで切開剥

離を行い神経血管の走行を見ることが臨床での注意すべきところが明確に知ることが出来ました。ステップごとに細かくやっていただいたデモもとても分かり易く、2人1組で行うため実際に触れるところが多く先生も1組ずつ回って細かく見て指導していただきとても有意義なセミナーになりました。

さらにミスを起こさないための細かいコツや万が一ミスが起こったとしてもその時の対処法や処置まで学ぶ事が出来たと思います。

2日間のセミナーでしたが内容も豊富で濃密な時間の為あつという間に感じました。むしろ空いた時間に他の所を触ったり、もっといろいろ見たかったため時間が足りなくも感じてしまいました。セミナー後の懇親会でも多くの先生と交流を重ね話し合い、知り合えたことも良かったです。今回のセミナーで学んだことの復習、イメージトレーニングをしっかり行い技術を吸収し、自分でも行えるよう努力していきます。また今回のみならずこの先の先も積極的に色々なセミナーに参加し知識、技術の向上に励み病院、法人に還元できるよう努力していきたいと思っています。今回はとても貴重なセミナーありがとうございました。



ハワイ大学 カダイバーコース REPORT

2016年10月29日・30日の2日間ハワイ大学にてJAID主催カダイバーコースが開催されました。
それぞれの2日間を振り返り、皆様にご報告させていただきます。





02

Seminar in
University of Hawaii
REPORT

林 洋介

東京オペラシティ歯科 分院長

Seminar in University of Hawaii REPORT by Yosuke Hayashi

神経、血管の走行をイメージし、それに伴う実習を行った事により、何か起きた時のリスクに対する処置もより具体的にイメージ出来るように。

10月30日、31日の二日間に渡ってハワイ大学にてサミュエルリー先生による実習セミナーに参加させて頂きました。このセミナーに参加しようと思ったのは、実際にご献体を使用して実習ができるという点。また海外の先生の考え方、実際の症例等に触れることができると思い、参加させて頂くことになりました。自分自身、初の海外セミナー参加でしたが、緊張しながら参加したのですが、参加されている先生方は若い先生からご年配の先生まで幅広く、皆、本気で学びに来ていらっしゃる先生ばかりで刺激的でしたし、また、サミュエルリー先生自身インストラクターの先生方も皆フランクですが、熱心に教えていただき、特に緊張することなく、実習に集中できました。今回は、重要な神経、血管系に特化して解剖してあるご献体をそれぞれに分かれてローテーションで見学するところから始まりました。実際のご献体を見るのは学生時代以来で、かなり久しぶりでしたし、普段なんとなくイメージしている神経、血管、筋肉など、実際に見て再確認しつつ、頭の中で再度整理することが出来ました。その後はサミュエルリー先生による、インプラント、サイナスリフト等の講義があり、実際の症例写真、ムービー等を見ながら、丁寧に講義していただきました。

特にサイナスリフトなどは、僕も実際に目で見たことは数例しかなく、頭の中で何となくは理解しているけども、実際には、という感じだったので、実際のムービー等を見ながらの講義は、非常に興味深く、楽しい講義でした。そして最後はいよいよ、実習です。実習も各ステップを1つ1つ丁寧に進めて頂きました。先ほど講義を聞いたばかりなので、できる気がしなかったのですが、実際にやってみると難しく、やはりかなり鍛錬がいるなと思います。それでも、各ユニットごとにサミュエルリー先生自身が周ってきていただき、丁寧にアドバイスを頂いたので、すごく充実した実習でした。1日目終了後に懇親会もご用意していただき、様々な先生方と歯科談義をしたり、かなり充実した二日間でした。日常臨床において、インプラントを希望されている患者様、また、インプラントが埋入できればかなり治療の幅が広がるのになあ、と思いがちですが、上顎洞の関係で強くお話しできないケース等、自分の中で悩ましかったところが、これからは自信を持ってお話できると思います。最後になりましたが、このような素晴らしいセミナーをご用意してくださったJAIDの関係者の方々に深く御礼申し上げます。

今まで私はインプラント治療をするにあたり、参考書、アシスタント、セミナーでの豚頭実習を行い比較的治療のしやすい症例を選びインプラント治療に挑んでいました。しかし、インプラント治療を行うにあたり、欠損部位のより困難なケースに出会う事も多くなり、スラップアップの必要性を日々の臨床で痛感していました。そんな時、理事長から今回のハワイセミナーのお話を頂きました。そして平成28年10月下旬、2日間に渡りJAID主催のハワイ大学にてサミュエルリー先生による実習セミナーに参加させて頂きました。

実習は頭頸部の解剖から始まり、参考書では三次元的なイメージがつきにくい三叉神経の分岐や血管の走行を改めて確認し、特に下顎では再生療法、骨造成の際の減張切開や縦切開で注意が必要なオトガイ神経や、舌側の剥離で気をつけなければいけない舌神経の走行を、上顎では遊離歯肉移植術や結合組織移植術の際の大口蓋神経・動脈や前歯部での切歯管の位置を確認出来ました。

サミュエルリー先生の講義では、基本的な事から応用まで教えて頂き、また動画を使用したアクシデント時の対応(大口蓋動脈損傷時の止血方法など)も見せて頂き、大変勉強になりました。

インプラント実習では、基本的な埋入からサミュエルリー先生のアドバンスの造骨のテクニック、またサイナスリフトまで直接指導を頂きました。

今回JAID主催のカダバー実習に参加し、直接御献体を触れることにより、どこまで切開を加えていいのかわからず危険な領域なのか経験させて頂きました。

これから困難なケースを治療していくにあたり、危険な神経・血管の走行している部位を触らなければいけません。そこをただ恐がって避けているようだとスラップアップには繋がらないのです。そして神経、血管の走行



をイメージし、それに伴う実習を行った事により、何か起きた時のリスクに対する処置もより具体的にイメージ出来るようになりました。

また、JAIDに参加された先生方と実習や懇親会を通じて色々なお話しする機会もあり、交流を持てました。僕のように若い先生方も同じような悩みを抱えてここに参加されていました。

今回のセミナーを通じて経験した事を活かし、今後のインプラント治療に役立てて行きたいと思っています。そして歯科医師としての糧にしていきたいと思っています。

Seminar in University of Hawaii REPORT by Ryota Watanabe

各ユニットごとにサミュエルリー先生自身が周ってきていただき、丁寧にアドバイスを頂きました。

03

Seminar in
University of Hawaii
REPORT

渡邊 亮太

医療法人社団因幡会



10/14

珍しくお酒も飲まず、神妙な顔つきに・・・



会場に到着すると、想像以上のメジャー感があつて圧倒されました。演者の顔写真がでかく印刷されたバナーが立ち並び緊張感をあおります。ほどなく、中塚先生の発表がはじまり、制限時間いっぱい・・・超過？の素晴らしい発表が終わり、日本勢も一息つきました。

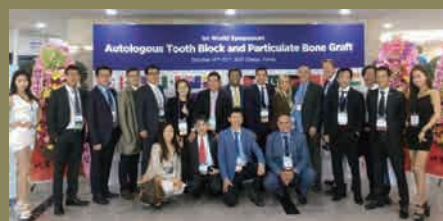


大邱市は、ソウル市、釜山市に次ぐ韓国第三の都市で前日にソウル入りした我々はKTX（新幹線）で大邱に向かいました。実測300km/h超えてましたねー。
1時間45分の旅は、あっという間で、当日発表を控えていた中塚先生は、珍しくお酒も飲まず、神妙な顔つきでした。もちろん、翌日に発表を控える私も同様です。



あつという間に初日が終わり、GALAディナーに出席しました。アメリカから来た演者と同席になり、楽しい国際交流が図れました。ただ、翌日に発表を控える私は、気が気ではなく、お酒もほとんどにホテルに帰り、飲み会にも参加せず、夜中までプレゼン修正に励むのでした。
英訳のチェックは森本太一郎先生にお願いしました。ですが、予演してみると、時間が余る余る。何かで埋めないといけません。。。。。

翌日に発表を控える私は、気が気ではなく、夜中までプレゼン修正に励むのでした。



1ST WORLD SYMPOSIUM - AUTOLOGOUS TOOTH BONE GRAFTに参加して



岩城 正明
Masaaki Iwaki
・JAID会長
・いわき歯科医院 院長

2017年10月14-15日に大韓民国大邱市にある大邱カソリック大学メディカルセンターで開催された1st World symposium - autologous tooth bone graftに長野の中塚先生とともに参加・発表して参りました。



発表するきっかけは、先日、我々の学術大会に大邱カソリック大学歯学部教授のSohn先生を招聘し講演いただいた中に紹介されていた、自家歯牙を骨充填材料にするという方法、機材を紹介いただき、私の知る限りでは、鈴木先生、有賀先生、中塚先生、私と4名が機材を導入しました。その時点で国内に19台目でした。



英語で発表することは結構なプレッシャーでした。



そして、Sohn先生から、国際シンポジウムを開催するので日本代表として話してほしいと請われ、しぶしぶ了承した次第です。なぜ、しぶしぶかと言いますと、国際シンポジウムなので発表は英語です。世界各国からネイティブ・スピーカーも多い中、英語で発表するストレスは、半端ないです。以前、USCのシンポジウムで発表された、五十嵐先生、中塚先生の奮闘を目の当たりにしているだけに、結構なプレッシャーでした。

明けて、15日。私の出番の日です。もう、人のプレゼンなど耳に入ってきません。しかし、スケジュール通りに私の出番はやってまいります。始まってしまえば、それなりに進んでいき、受け狙いのスライドでは、爆笑をいただきました。終わってみれば、英語で海外で発表するという貴重な経験が得られたと思います。
JAID会員の皆様も、請われたい受ける姿勢で世界に羽ばたいていただきたいと思います。
最後に、森本太一郎先生、お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

英語で海外で発表するという貴重な経験が得られました。



2017年春、オール・イン・プラント・リハビリテーションシリーズVol.1の英語翻訳版が出版されることになり、同3月にドイツ・ベルリンにあるクインテッセンス出版社本社を訪れてまいりました。クインテッセンス社ハーゼ会長とも今後のJ A I D書籍に関する会議を行わせて頂き、また日本人では我々J A I D一行が初めてとなるクインテッセンスドイツ本社内も見学させて頂きました。これもひとえに書籍のみならずJ A I Dメンバーの方の多岐にわたる活動を認知して頂いているからこそだと思ふとともに、顧問としての重責も改めて感じた次第であります。



ドイツでは少しプライベートな時間も取ることが出来、ヒトラー暗殺に参加されたシュタウフェンベルク大佐の像なども見学することが出来ました。ワルキューレの主人公で、トムクルーズが主演した映画でも有名です。

今後も我々J A I Dは、国内の活動はもとより海外での研修やセミナーを積極的に行い、世界トップクラスのドクターやDHとも交流を深め、そこで得た知識技術を個々日々の診療に役立てるとともに、時に皆の英知を書籍等で集積し世の中に伝え貢献できるように学術団体であることを目指したく思います。

in
Berlin

クインテッセンス出版

ドイツ本社訪問記





KLT 川口歯科医院 ご開院100周年記念



川口歯科医院初代院長
川口 なか
(川口哲郎の叔母)



思い出に生きる

永遠に生きる人はいませんが
永遠に忘れない人はいます
忘れられない人生を過ごした方
精一杯の人生を過ごした方
大変だった事
幸せだった事
この人生に感謝します

川口なか氏歯科医籍登録100周年に際して
KLT 川口歯科医院四代目 川口 和子
2017.6.17



- 1 メルボルン散策を楽しめる松本先生と中島先生
- 2 メルボルンのシンボル フリンダース ストリート駅前にて
- 3 サイナスリフトを受けられた直後の鈴木先生
- 4 Alex先生によるイントロダクション
- 5 ライブオペ



Alex Fibishenko 先生

All-on-4 Clinical Residency

メルボルン 2日間コース

Text & Photo by Toshitaka Abe



阿部 敏高
Toshitaka Abe
新宿西口歯科医院 副院長



クリニック前での集合写真

とが長期予後には重要であるとの事でした。

症例を拝見する毎に自分の固定概念が覆されていく

ライブオペでは迷いのないAlex先生の手術に最初こそ戸惑いも感じましたが、症例を拝見する毎に自分の固定概念が覆されていきました。また手術翌日に暫間補綴物を装着する際には、不安そうな患者様の表情が一瞬にして明るくなったことに受講者全員から思わず笑顔が溢れ、診察室が温かい雰囲気になりました。とも忘れられません。余談ではございますが鈴木仙一先生自ら患者となられサイナスリフトを受けられたことも、この研修をより特別なものにしたと思います。

研修後には先輩のドクターとともにメルボルンの街を観光しながら楽しくお話をさせていただき、海外研修の醍醐味を味わうことができました。

ご指導いただきましたAlex先生、機会を作っていただいたJAID様、コーディネートしていただいたノールバイオケア社様には深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

初めまして、阿部敏高と申します。今回Alex Fibishenko先生によるAll-on-4 Clinical Residencyメルボルン2日間コースを受講させていただきました。

初めての海外研修参加ということで大変緊張して家を出ましたが、出発のフライトが12時間も遅れたり、メルボルン空港での待ち合わせにも合流できず一人で夜中の空港をさまよったりと不安が一層募る始まりとなりました。翌朝にホテルの朝食会場で受講される先生方とお会いできた時には、本当に安堵したものです。

Alex先生のオフィスはメルボルン中心地から30分ほどの緑豊かな幹線道路沿いにありました。2階建の鉄筋コンクリート造りで1階には駐車場と技工室、2階はセミナールームと診療スペースがあり、ガラスを多用した開放的なインテリアが印象的でした。

まずはセミナールームでAlex先生からのイントロダクションがあり、先生自身の経歴やAll-on-4 Zygomaxに対する考え方を教えていただきました。天然歯を無理に保存して複雑な補綴にするよりも、シンプルさを追求する術式で感染リスクを下げるこ



訪問歯科コースを受講して

むらまつ歯科 幸山 清美

訪問歯科 衛生士コースを受講して 01

知っておかなければならないことは、
たくさんあるのだと気付かされました。

私は訪問歯科の仕事に携わっています。今は何か問題にぶち当たると聞いて解決することで済ませています。今回このコースに参加することにより、知っておかなければならないことは、たくさんあるのだと気付かされました。

お口の状態だけを見るのではなく、全身状態や病気、飲んでいるお薬など、前もって調べることが大切。

ケアのやり方や使える物品、その場でのトレーニングがあること、口腔ケアといっても、その時のお口の状態だけを見るのではなく、その日の全身状態や病気（持病）、飲んでいるお薬など、前もって調べておくこと。

口腔ケアの時間以外でも、食べること、食べ方、食べさせ方、そのた、救急処置が行えることも大切だが、しなくても良いような地味な努力を実践すること。など知らなかったことを知るのも大切だが、知っていることを、再び確認でき、より深めることができたのも、良かったと思います。



JAID認定 第2期

訪問歯科 衛生士コースを受講して

高齢者や障害を持っている方のお口の健康を守るため、訪問歯科にたずさわる歯科衛生士育成します。
口腔ケアをメインとし摂食、嚥下、訪問介護、救急蘇生等、全身のトータル管理を学べる4回コースプログラムです。

監修／医療法人社団 むらまつ歯科

日程 2017 7.9^① 2017 8.6^② 2017 9.10^③ 2017 10.22^④



細菌が繁殖
するのを防いで、**歯肉炎予防!!**

**モグミ
プロケアα**
ノンアルコールタイプ



3つの薬用成分で
歯ぐきを守る

抗炎症成分
GK₂
歯ぐきのハレと
炎症を防ぐ

殺菌成分
CPC^{*2}
口腔内の
原因菌を殺菌

出血予防成分
TXA^{*3}
歯ぐきからの
出血を防ぐ

*1 グリチルリチン酸ジカルシウム
*2 塩化セチルピリジニウム
*3 トラネキサム酸

マイルドな爽快感で、毎日続けやすい
ペパーミントの香味です。



医薬部外品

アース製薬

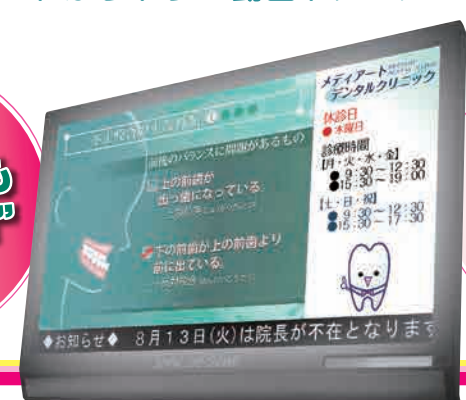


—— 待合室を情報空間に ——
Dental Life Channel
デンタルライフチャンネル

歯科医院患者様向け
**待合室専用
情報番組**
(チェアユニットにも可)

難しい内容も
“分かり易い”

待合室のテレビモニターで、歯にまつわる知識を
わかりやすい動画やアニメーションで配信中!!



待合室を
有効活用!
視認性
バツグン!!



TEL ▶ 03-5953-7011
FAX ▶ 03-5953-7012
Mail ▶ info@medi-art.co.jp

株式会社メディアアート
〒170-0014 東京都豊島区池袋 1-8-7 サン池袋 1 2F



むらまつ 歯科

宮本 浩子

訪問歯科 衛生士コースを受講して 03

食べることの大切さ。安全に食べてもらうために。

今回、JAID認定訪問歯科衛生士コース2期生として受講させて頂いて、歯科衛生士としての役割に興味深く、講義を受けることが出来ました。

その講義の中でも摂食・嚥下「食べる」と「考える」のお話が私の中で、一番響くものがありました。

食べることの大切さ、食べられることによって様々なことが改善され、安全にたべてもらうには、どうするべきか、今まで思っていた胃ろうの重要性など、どのお話も聞き逃すこともなく時間もあつという間に過ぎていきました。私の口腔ケアをしているご老人の方で90歳を超えている方がたくさんおられます。

みなさんに共通することは、ご自分の歯がたくさん残っている、きちんと食事ができていて、ご自身で歯磨きもされています。認知症が始まらない方々です。食べられることはしっかりと栄養も取れ、全身にとっても良いことになっていることが身近で見られていました。

これからも、ご自身の歯で食べて頂く為に、私に何をすればいいのか、改めて考えていきたいと思えます。この様な意義のある講義を受けさせて頂いてありがとうございます。

これからも3期生と続けてスキルアップができる歯科衛生士が増えていけば良いと思います。

むらまつ 歯科

阪本 富己枝

訪問歯科 衛生士コースを受講して 02

患者一人一人のケアに際し、全身状態の何らかの変化に気づくことの重要性を改めて学びました。



スライドで多くの症例も見せていただき、大変貴重な時間を過ごすことが出来ました。

今回の勉強会では、日本大学松戸歯学部山口先生による「全身管理と救急処置」の講義が大変興味深いものでした。

その一つとして、「主な疾患、服用薬剤に対する基礎知識」は、訪問の現場において、すぐに役立つ、なおかつ知っておくべき事だと痛感いたしました。その上で、患者一人一人のケアに際し、貧血、爪の変化、皮膚

の色など体表の観察、いわゆる全身状態の何らかの変化に気づくことの重要性を改めて学ばせて頂きました。

たくさんスライドで症例も見せていただくことが出来、大変貴重な時間を過ごすことが出来ました。さらなる飛躍の糧としています。

お口を通して、全身のことも観察することが大切。

私は、訪問歯科の口腔ケアの仕事を始めて3年が過ぎました。歯科の仕事を離れて15年ほど経っていたので不安だらけの中、歯科衛生士への復帰でした。医院の先生や先輩衛生士の方に一つ一つ教えて頂き、日々が過ぎていきました。

日々の仕事の中で、これでもいいのかと思うことも多々あるし、気付けていないこともあると思います。

今回JAIDの講座を受講して色々勉強になりました。介護施設の種類の多さにも驚いたし、摂食・嚥下の講座は、今まで知らなかったことばかりで大変勉強になりました。口腔ケアとの関わりも深く興味深い講座でした。

私が以前仕事をしていた時とは大きく変化していて、今は歯や口の中だけを見るのではなくお口を通して、全身のことも観察することが大切だと分かりました。患者様の病歴や薬歴、食事形態を知ること、全身状態のモニタリングの大切さ、など日々の仕事で活かせることを学ぶことが出来ました。

口腔ケアで担当している患者様の様子、全身状態、口腔内の変化に気づける様にこれからも頑張っていきたいと思いました。

むらまつ 歯科

上林 美紀

訪問歯科 衛生士コースを受講して 04

摂食・嚥下の講座は、口腔ケアとの関わりも深く興味深いものでした。

クリニックと患者さんをつなぐ
歯科専門ポータルサイト

こんな先生方に
おすすめです!

HPは作ったものの、患者が増えていない。
すぐに効率良くクリニックのPRがしたい。

■お問い合わせ先

株式会社メディカルネット メディア・プラットフォーム事業部
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1丁目34-14 宝ビル3階 Tel.03-5790-5265 Fax.03-5790-5262

インプラントネット

全国からインプラント歯科医院を探す

ICOL

インプラントネット 歯科専門ポータルサイト

インプラント ネット

検索

http://www.implant.ac/

m medicalnet



徳島県 徳島市

庄野歯科医院 医院巡り

SHONO DENTAL CLINIC



庄野 太一郎
Taichiro Shono
医療法人 庄野歯科医院 理事長

皆様こんにちは。JAID副会長を務めさせていただいております庄野です。私事ではありますが、2017年4月、18年間診療を続けていた医院より新規移転開業させて頂きました。同じ徳島市内とはゆえ、慣れ親しんだ現医院を離れることに迷いは多々ありましたが、この度ご縁があり新しい場所に移ることになった次第です。

土地面積は2100平米、診療ユニット数12台、オペ室も2室備えた比較的規模の大きい医院となりました。

せっかく新規に医院を開設するのであれば、と自分の思い描く理想の医院作

りを目指し、オペ後の患者さん用リカバリールームや皆で勉強できるようなセミナールーム、余裕のあるスタッフルームや休憩できるテラスなど、あらゆるものを詰め込みました。ドクターをはじめスタッフのびのびと仕事ができる環境ができればと思った次第です(自分も含め)。休日にはテラスでBBQなどしています。

おかげでかなりのパワーと大きな額のお金を使ってしまったが、五十嵐先生からも「お酒に消えるぐらいなら形に遣す方がマシヤ」とお褒めのお言葉もいただきました笑。

徳島へお越しの際は新しくなった医院にどうぞお立ち寄りください。医院にお越しいただかなくても徳島にお越しの際は庄野までご二報ください。是非飲みにいきましょう！

この度の移転開業に際し、全国から数々のお祝いのお言葉、御花等を頂き誠に感謝しております。また、まだお礼の言葉も言えてない先生方もいらっしゃると思いますのでこの場をお借りして改めてお礼を申し上げます。ありがとうございます。これからどうぞよろしくお願いいたします。



開院の際には五十嵐先生・脇田先生はじめJAIDの方々にもお祝いに駆けつけてくださいました。

